

## Ver1.10 プログラムの修正内容

### ■一般診断法

ver1.10(2013/08/08)

- ① [基本入力シート] フローの上に、「一般診断法プログラムのフロー」を追記.
- ② [基本入力シート] フローの「在来工法」を「在来構法」に修正. [出力シート]の 1,2 頁目も同じ修正.
- ③ [出力シート:1 頁目] 方法 1 を選択した場合、「在来軸組構法／枠組壁工法」と出力. 2 頁目も同じ修正.
- ④ [出力シート:1 頁目] 診断者情報の出力フォーマットを変更.  
「所在地」欄(2ヶ所)を2行にわたって出力できるようにし、診断者情報の罫線間の幅が広がっています.
- ⑤ [出力シート:2 頁目] 「積雪区分」で、積雪深さは多雪区域の場合のみ表示.
- ⑥ [出力シート:3 頁目] 「8. 必要耐力の算定」に、建物固有周期の仮定(2階建ては  $T=0.2$  秒, 平屋建ては  $T=0.13$  秒)を表示.
- ⑦ [出力シート:3 頁目] 2階の「 $A_i$  係数×混構造割増」の計算式を修正.
- ⑧ [出力シート:7 頁目以降] 有開口壁の壁長制限をなしに修正.
- ⑨ [出力シート:7 頁目以降]  $\alpha$  壁の R～X 欄の壁の壁長制限を 0.6m に変更.
- ⑩ [出力シート:7 頁目以降] 壁要素のリストにおいて、有開口壁の場合、「接合部判定」欄および「基礎／接合部」欄に「-」を表示.
- ⑪ [出力シート:7 頁目以降] 壁入力シートの軸組  $\alpha$  欄に小文字をした場合、あるいは面材  $\beta$  欄に大文字を入力した場合、その壁要素の耐力・剛性を 0 として、壁要素のリストに表示.
- ⑫ [出力シート:壁伏図] 有開口壁に「窓」「掃」の別を表示.
- ⑬ [出力シート:壁伏図] 斜めの有開口壁の出力を修正.
- ⑭ [他] 各階各方向で剛性が 0 となる場合、計算を中止し、エラーメッセージを表示.

### ■精密診断法 1

ver1.10(2013/08/08)

- ① [基本入力シート] フローの「在来工法」を「在来構法」に修正. [出力シート]の 1,2 頁目も同様の修正.
- ② [出力シート:1 頁目] 方法 1 を選択した場合、「在来軸組構法／枠組壁工法」と出力. 2 頁目も同じ修正.
- ③ [出力シート:8 頁目以降]  $\alpha$  壁の R～X 欄の壁の壁長制限を 0.6m に変更.
- ④ [出力シート:8 頁目以降] 壁入力シートの軸組  $\alpha$  欄に小文字をした場合、あるいは面材  $\beta$  欄に大文字を入力した場合、その壁要素の耐力・剛性を 0 として、壁要素のリストに表示.
- ⑤ [他] 各階各方向で剛性が 0 となる場合、計算を中止し、エラーメッセージを表示.